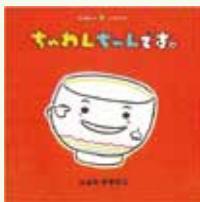


新刊紹介

●一般書 ○児童書



- 田舎のポルシェ／篠田 節子(著)／文藝春秋
- 一瞬でできる！頭の整理力／齋藤 孝(著)／ゴマブックス
- 老いの福袋 あっぱれ！ころばぬ先の知恵88／樋口 恵子(著)／中央公論新社



- ちやわんちゃんです。／とよた かずひこ(さく・え)／童心社
- オサム／谷川 俊太郎(文)／あべ 弘士(絵)／童話屋
- おかえり、ウミガメ／高久至(写真・文)／アリス館

防災一口メモ

いざという時のために



自然災害に備える④(情報収集編2)

さまざまな自然災害が起こる今の時代、災害から命を守るために、必要な情報を得るための方法を準備しましょう。戸別受信機のほかに、パソコンや携帯電話等のメールアドレスを登録することで、防災行政無線の放送と同じ内容の防災情報や暮らしの情報をメールで受け取ることができます。また、放送内容が聞き取りづらかった場合には、専用の電話番号(73-3400)に電話することで、放送と同じ内容を聞くことができます。そのほかにも、市のホームページに放送内容を掲載しています。もしもに備えて、情報を得るための方法を確認しておきましょう。

問合せ 総務課危機管理対策係 TEL76-1086

環境・ごみ減量・動物愛護などに関する情報を発信するコーナーです。

今月のテーマ

緑のカーテンについて



緑のカーテンとは、家の外の窓にゴーヤやアサガオなどのツル性の植物を植えて作る自然のカーテンのことです。緑のカーテンは日差しをさえぎり室内温度や建物の表面温度を下げるだけでなく、葉の表面から水分を蒸発させる「蒸散作用」により周囲の温度を下げる効果もあります。

緑のカーテンを作り、冷房の使用を抑え環境にやさしい夏にしましょう。

問合せ 市民生活課環境整備係 TEL76-1097

夏休み参考図書を展示します！

待ちに待った夏休み！宿題や自由研究の調べ物は、図書館の本がお手伝いしますよ♪
夏休み期間中、参考図書コーナーを設けますので、ぜひご活用ください！

SDGsコーナーができました

SDGsに関する本を集めた「SDGsコーナー」が2階、児童閲覧室にできました。ぜひご覧ください。



イベント

今年も開催!!

令和3年度読書感想文書き方教室

募集：小学1～6年生(1～3年生は保護者同伴)

※申込みは7月1日から先着順とし、定員になり次第、締め切ります。

日時：7月20日(火)

- ・15時～ 定員5名
- ・15時30分～ 定員5名

場所：市立図書館2階 児童閲覧室

内容：おすすめの本のブックトーク、原稿用紙の使い方

こども図書館まつり

日時：7月30日(金)

場所：市立図書館2階 児童閲覧室

内容：「図書館でさかな釣り？」

さかなが釣れたら特別にもう1冊借りることができるように♪(18歳までが対象)



No.351

市立図書館 72-9254

ホームページ <https://www.city.makurazaki.lg.jp/site/library/>

★開館時間 9:30～18:00

カレンダー 7月10日～8月7日

日	月	火	水	木	金	土
						10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31
8月	1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6	7

■休館日 ★イベント

おはなしのへや 午後3時～
(絵本と紙芝居の読み聞かせ)



- 活動内容 毎月、「広報まくらざき」をCDに音訳し、視覚障害の方へお届けしています。
- 今月の担当 揚野さん、牧之段さん
- 会員募集中 問い合わせは図書館まで。

枕崎の特色ある教育

「ノーメディア・ノーメディアコントロール」への取り組み

問合せ 生涯学習課 TEL76-1286

本市では、家庭教育の充実を図るために、「家庭学習『40・60・90・120運動』の推進」と「小・中学校が連携した『ノーメディアデー』の推進」を掲げ、学校・地域・家庭が一体となった取り組みを進めているところです。

昨今のメディアの氾濫から子どもたちを守っていくためには、「ノーメディア・メディアコントロール」の取り組みが欠かせません。この取り組みは、子どもたちの基本的な毎日の生活リズムを確立するだけではなく、家族の団らんや家庭学習の時間を確保することにもつながります。

アンケート調査の結果

下のグラフは、昨年7月に「インターネット環境機器の使用は、午後9時までとする」という取り組みに対して主体的に取り組んでいる市内の子どもの割合を調査した結果です。「ノーメディア・メディアコントロール」に多くの子どもが主体的に取り組んでいることが分かりましたが、学年が上がるにつれ、その割合が低くなっていることも分かっています。このことは、学年が上がるごとにスマートやタブレット等の所持率が上がっていることとも関連があるのではないかと。

まずは、「なぜ、今この取り組みを推進していく必要があるのか」ということを家族で一緒に振り返り、それらを

基に、「今後の家庭での具体的な実践はどうあるべきか」ということについて確認することが大切です。

夏休みを直前に控えているこの時期だからこそ、今一度これらの取り組みを家庭でもしっかりと確認し、今後の具体的な実践に向けた話し合いの場を設定してみてはどうでしょうか。

「ノーメディア・メディアコントロールにどのように取り組めばいいのか？」

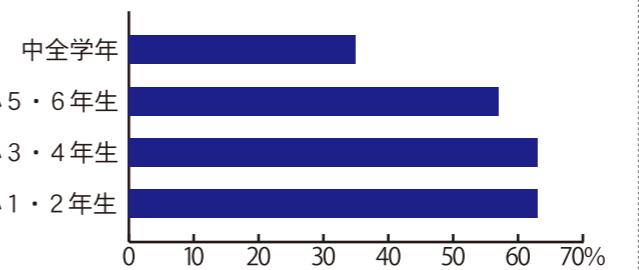
ご家庭で「ノーメディア・メディアコントロール」に取り組むポイントは、「まくらざき家庭教育手帳」で紹介しています。枕崎市のホームページからも閲覧することができます。ぜひ一度、ご覧ください。

「ノーメディア・メディアコントロール」について、知りたいこと、分からないことがある方は、生涯学習課までお気軽にお問い合わせください。



▲まくらざき家庭教育手帳

「インターネット環境機器の使用は午後9時までとする」に主体的に取り組んだ子どもの割合（令和2年7月調査）



○「お口ポカン」が引き起こす
ラブル

- ・むし歯・歯ぐきの炎症・口臭を引き起こしやすい！
- ・いつも口が開いていると、汚れを落としたり細菌を退治してくれるだ液の量が減り、むし歯や歯周病になります。
- ・原因にもなります。
- ・顔や唇の形、歯並びにも影響あります。

○「大人も危険！」マスク生活が口呼吸を誘発！

○大人も危険！マスク生活が口の状態になってしまいましょう。マスクをしている間に常にマスクを使用していると息苦しさから口呼吸を誘発します。お口が乾燥し歯周病やむし歯のリスクが高くなります。意識して鼻呼吸に努めていきましょう。

○子どもの「お口ポカン」が急増
「お口ポカン」とはいつも口を開いている状態のことですが、年この症状を持つお子さんが増えているといわれています。このほど新潟大学の齊藤一誠准教授の研究グループによる全国調査が行われ、日本人の子どもたちの約3割が日常的な「お口ポカン」であることが明らかになりました。さらに年齢と共に年增加することも分かりました。

内に入りやすく、風邪やインフルエンザを引き起こすリスクが高くなります。

○唇と表情筋を鍛えて「お口ポカン」を改善しましよう
お口の体操「あいうべ体操」で唇や表情筋を鍛えていきましょう。

健康ちゃんねる

防災一口メモ

いざという時のために



自然災害に備える④(情報収集編2)

さまざまな自然災害が起こる今の時代、災害から命を守るために、必要な情報を得るための方法を準備しましょう。戸別受信機のほかに、パソコンや携帯電話等のメールアドレスを登録することで、防災行政無線の放送と同じ内容の防災情報や暮らしの情報をメールで受け取ることができます。また、放送内容が聞き取りづらかった場合には、専用の電話番号(73-3400)に電話することで、放送と同じ内容を聞くことができます。そのほかにも、市のホームページに放送内容を掲載しています。もしもに備えて、情報を得るための方法を確認しておきましょう。

問合せ 総務課危機管理対策係 TEL76-1086